

## 世界の最先端化粧品技術を競う学会 第29回国際化粧品技術者会連盟(IFSCC)世界大会にて ポーラ化成工業が、6件の論文を発表します

ポーラ・オルビスグループのポーラ化成工業株式会社(本社:神奈川県横浜市、社長:三浦卓士)は、10月30日~11月2日に米国・オーランドで開催される第29回国際化粧品技術者会連盟(以下IFSCC)世界大会(Congress)において、口頭発表3件、ポスター発表3件、計6件の論文を発表します。発表する内容は今後、ポーラ・オルビスグループの商品開発に応用されます。

IFSCCは、世界57カ国が加盟しており、総会員数は約15,000名です。化粧品技術者・研究者にとって最も権威のある学会であり、これまでの受賞内容は化粧品の最先端技術として応用・実用化され、化粧品市場の発展を支えてきました。世界大会は2年に1回、西暦偶数年に開催され、西暦奇数年には中間大会(Conference)が開催されます。

前回、2014年にフランス・パリで開催された第28回世界大会では、ポーラ化成工業の後藤悠研究員が発表した研究論文『月経周期におけるニキビ悪化と皮膚抗菌ペプチド hBD-3 の関連性』が、口頭発表基礎部門において最優秀賞を受賞しました。また、2015年の中間大会でも口頭発表部門で最優秀賞を受賞しております。

現在までのIFSCCにおけるポーラ化成工業の受賞回数は8回を数え、受賞回数ランキングでは世界第2位となります。

### 口頭発表

#### ① 論文タイトル:『皮下腱細胞~タルミ改善の新たな鍵を発見~』

英文名: Subcutaneous tendon cells, a newly discovered player for improving facial sagging

発表者: ポーラ化成工業(株) 肌科学研究部 皮膚科学研究室 坂田 綾

#### ② 論文タイトル:『高分子ヒアルロン酸の皮膚内送達を可能にする化粧品製剤技術の開発』

英文名: New formulation technique to promote high-molecular-weight hyaluronic acid penetrating into the skin without injection

発表者: ポーラ化成工業(株) 開発研究部 スキンケア開発室 林 亮太

#### ③ 論文タイトル:『ナチュラル・オーガニック化粧料の幅広い感触設計と機能向上が可能となる新規乳化技術の開発』

英文名: A technique for formulating natural/organic cosmetic emulsions for improving their sensory textures and functions

発表者: ポーラ化成工業(株) 開発研究部 スキンケア開発室 仁王 厚志

### ポスター発表

#### ④ 論文タイトル:『LncRNAは細胞の運命を変えることで細胞を再生する』

英文名: Cell-fate-alteration-induced rejuvenation of senescent cells by manipulating long-non-coding RNA

発表者: ポーラ化成工業(株) 肌科学研究部 皮膚科学研究室 楊 一幸

#### ⑤ 論文タイトル:『ベース処方による皮膚生理機能の改善~Basket-weave角層の形成が鍵~』

英文名: Basket-weave stratum corneum as a key awaking the skin physiological functions by simple emulsion-bases

発表者: ポーラ化成工業(株) 肌科学研究部 肌分析研究室 後藤 悠

#### ⑥ 論文タイトル:『海水を味方につけて、機能を上げる日焼け止め “Sea-friendly sunscreen” の開発』

英文名: Development of new “sea-friendly sunscreens” of which functions were enhanced with seawater

発表者: ポーラ化成工業(株) 開発研究部 メイクアップ開発室 中谷 明弘